

かがよひ
耀

～源氏物語に寄せる音絵巻～

小栗 克裕

0'00" 0'05" 0'10" 0'15" (0'17") 0'20" 0'25" (0'27") 0'30" 0'35" 0'40"

Percussion I

Vibraphone

Percussion II

小鼓

0'15" (0'17") 0'20" 0'25" (0'27") 0'30" 0'35" 0'40"

Vibraphone

(0'07") (0'14")

pp *p* *mp* *pp*

ppp *pp* *p* *mp* *pp*

0'45" 0'50" 0'55" 1'00" 1'05" 1'10" 1'15" 1'20" 1'25"

Perc. I

Sleigh bells (Left Hand)

Perc. II

小鼓

0'52" 「源氏の君」と初めて出会いし北山の寺での幼き「紫の上」をイメージして可憐に・・・ (かけ声はなしで)

mp *mf*

perdendosi

「源氏の君」は「紫の上」の成長する姿を見ながら、女性として彼女に惹かれていく。
 そんな心の内を小鼓（「紫の上」）と対話するように静かに表現する。

1'30" 1'35" 1'40" 1'45" 1'50" 1'55" 2'00" 2'05" 2'10"

Perc. Sleigh bells (Left Hand) Bamboo chime (Right Hand)

pp sempre *p* *mp* *p* *pp* *ppp*

Perc. II Antique cymbals Antique cymbals Sleigh bells

ppp *mp* *p*

小鼓 Percussion I (源氏の君) と対話するような気持ちで・・・しかし、まだ静かな心で・・・ (かけ声も静かに少しだけ)

poco *poco*

2'15" 2'20" 2'25" 2'30" 2'35" 2'40" 2'45" 2'50" 2'55"

Perc. Chromatic gongs

mp *p*

Perc. Sleigh bells (Left Hand)

pp *mp* *pp sempre*

小鼓 「源氏の君」に愛されることの喜びを感じて・・・ (かけ声も晴れやかに)
 ヨ～～オ ホ～～オ

mf

3'00" 3'05" 3'10" 3'15" 3'20" 3'25" 3'30" 3'35" 3'40"

Perc. I

mp *mf* *sub.p* *mf* *mp* *p* *pp*

Tree chime (Right Hand)

p *poco* *p* *perdendosi*

小鼓

3'45" 3'50" 3'55" 4'00" 4'05" 4'10" 4'15" 4'20" 4'25"

Perc. I

ppp Bamboo Marimba

Perc.

perdendosi *ppp* Namizutsu (or Geophone)

小鼓

perdendosi ヨ～～オ ホ～～オ **Cadenza**

静かに、深く感動したかけ声で・・・
(小鼓は叩かないで)

チ、タの奏法を用いて、静かに、そして音程を変えながら
(ポンは使わずに。かけ声もなしで)

4'30" (4'32") 4'35" 4'40" 4'45" 4'50" 4'55" 5'00"

Bamboo Marimba *quasi poco a poco accel.* - - - - *poco a poco cresc.* - - - - *p*

Perc. I *pp* ● = 60 ca. (○ = ●●) ● = 72 ca. ● = 84 ca. ● = 96 ca. ● = 108 ca.

Perc. Namizutsu (or Geophone) *ppp*

小鼓 次第にボンや様々なかけ声を加えながら緊張感を増していき、「源氏の君」が須磨へ旅立つ不安と悲しみをイメージして...

5'05" 5'10" 5'15" 5'20" 5'25"

Perc. I ● = 120 ca. ● = 132 ca. ● = 144 ca. ● = 156 ca. ● = 168 ca. *mp*

Perc. *pp* *p* *mp*

小鼓

5'30" 5'35" 5'40" 5'45" 5'50" 5'55"

Perc. I *mf* *f*

•=180 ca. (「 \square 」=60 ca.) *sempre poco a poco accel. e cresc.* - - - -

Perc. 次第に波が荒々しくなりながら切迫していき、「明石の上」と「源氏の君」の逢瀬をイメージする

小鼓 波の音を耳障りに感じながら、次第に荒々しいリズムでいらだちを表現して...

6'00" 6'05" 6'10" 6'15" 6'20" (6'23") 6'25" 6'30"

Perc. I *ff* *fff* 3 Temple block

Perc. (6'08") 3 Slittam (6'12") *sffz* *quasi accel.* - - - *sffz* *pp*

小鼓 *fff* *fff* *quasi rit.* - - - *ff* *p* *fff*

怒りと苛立ちを感じながら! \sim エ $\sim\sim$ (6'32")
quasi rit. - - - イヨ $\sim\sim$ オ

6'35" 6'40" 6'45" 6'50" ♩=98 ca. 6'55" 7'00" 7'05" 7'10"

Perc. I
3 Temple block
ff

小鼓のリズムに決して絡まず、自由に即興して・・・

Perc. II
ff ♩=132 ca.

小鼓やPercussion I のリズムに決して絡まず、自由に即興して・・・

小鼓
荒々しいリズム (乱れ打ち) とかけ声によって、「明石の上」への嫉妬をあらわにして・・・ (Percussionに絡んでいく必要なし)

7'15" 7'20" 7'25" 7'30" 7'35" 7'40" 7'45" 7'50" 7'55"

Perc. I
quasi rit. - - -
p **G.P.** Chromatic gongs
mp

Perc. II
quasi rit. - - -
p **G.P.** Sleigh bells (Left Hand)
mp *quasi accel.* - - -
sfz *pp*

小鼓
次第に心穏やかに・・・
p **G.P.**

8'00" 8'05" 8'10" 8'15" 8'20" 8'25" 8'30" 8'35" 8'40"

Perc. I

p *mp* *mf* *sub.p* *mf* *mp*

Perc.

Tree chime (Right Hand)

p *poco* *p*

小鼓

「源氏の君」の帰京の喜びと、愛されていることに幸福を感じて・・・（しかし心のかげりも感じて）
 ヨ～～オ ホ～～オ

mf

8'45" 8'50" 8'55" 9'00" 9'05" 9'10" 9'15" 9'20" 9'25" 9'30"

Perc. I

p *pp* *ppp* *pp*

Perc.

pp

perdendosi *perdendosi*

小鼓

そっと包み込むような優しさを持って・・・

悲しみの中にも「源氏の君」の優しさと
 (9'23") 愛情を感じ取りながら、心穏やかに
 Percussion I と対話して・・・

ヨ～～オ ホ～～オ

静かに、深い悲しみを込めた声で・・・
 (子供が産めない無念な気持ちを込めて)

9'35" 9'40" 9'45" 9'50" 9'55" 10'00" 10'05" 10'10" 10'15"

Perc. I

Namizutsu (or Geophone)

Perc.

小鼓

mp *mf* *f*

pp *mp* *mf* *f*

波の音を聞き、「明石の上」が姫君を産んだことを悟り、悲しみと嫉妬の音色へと変化していく。しかし「源氏の君」からの返事はない

10'20" 10'25" 10'30" 10'35" 10'40" 10'45" 10'50" 10'55" 11'00"

Perc. I

Antique cymbals

Perc.

小鼓

mp *p* *pp* *ppp*

poco *mp* *p* *pp*

静かに「紫の上」をきとすように・・・

ヨ～～オ

p

11'05" 11'10" 11'15" 11'20" 11'25" 11'30" 11'35" 11'40" ♩=84~108 ca. 11'45"

Perc. I → 3 Temple block

Perc. II → 3 Slittam

小鼓 *quasi accel.* - - -

「明石の上」に代わり姫君を入内させるために、「紫の上」が母代わりとして育てることになった喜びをあらわにして。心躍るようなリズムで「源氏の君」、そして六条院の栄華を極めた世界を表現して・・・

11'50" 11'55" 12'00" 12'05" 12'10" 12'15" 12'20" 12'25" 12'30"

Perc. I *quasi rit.* - - - *p* G.P.

Perc. II 3 Slittam ♩=84~108 ca. *quasi rit.* - - - *p* G.P.

小鼓 *quasi rit.* - - - *p* G.P.

小鼓や Percussion I のリズムに絡みながら、華やかに自由に即興して・・・

12'35" 12'40" 12'45" 12'50" (12'52") 12'55" 13'00" (13'02") 13'05" 13'10" 13'15"

Perc. I

Vibraphone

Perc. II

小鼓

(12'42") (12'49")

ppp *pp* *p* *pp* *p* *mp* *pp*

(13'07") 六条院の栄華を感じつつ、荘厳な趣で・・・

13'20" (13'22") 13'25" 13'30" 13'35" 13'40" (13'42") 13'45" 13'50" 13'55" 14'00" (14'02") 14'05"

Perc. I

Perc. II

小鼓

mp *f* *mp* *mf* *p* *mp* *f* *mp* *mf* *p* *mp*

しかし「女三の宮」の降嫁により正妻の座は奪われ、
自分のおかれた立場のはかなさをかみしめながら・・・

14'10" 14'15" 14'20" 14'25" 14'30" 14'35" 14'40" 14'45"

Perc. I

Perc. II

小鼓

病で床に伏し、出家することも許されず、愛されながらもさびしきを感じながら昇天していく「紫の上」の思いを少なめの音で表現

perdendosi

14'50" 14'55" 15'00" 15'05" 15'10"

179

Perc. I

Perc. II

小鼓

perdendosi

perdendosi